平成１４年度主な新規及び注目事業

○は新規事業　単位：千円

1．市民がつくる自治都市
　（1）自治会活性化事業（79,523）
　○（2）女性に対する暴力の専門相談（5,205）
2．平和の発信都市
　○（1）那覇平和芸術祭（5,000）
　○（2）那覇市･ロシア友好交流事業(2,177)
　（3）姉妹友好都市との交流(国外)（3,541）
3．住みよい生活都市
　（保健・医療・福祉）
　○（1）新那覇市子どものゆめづくりみらい21プラン策定事業（12,319）
　○（2）認可外保育施設児童への牛乳支給事業（20,202）
　○（3）安謝保育所管理運営委託事業(119,799)
　（4）母子生活支援施設建設事業(409,550)
　○（5）障害者生活支援事業（7,500）
　○（6）精神障害者地域生活支援センター設置事業(36,368)
　（生活基盤の整備）
　（1）真嘉比古島第二土地区画整理事業（2,318,718）
　（2）新都心公営住宅建設事業(878,458)
　（3）繁多川公営住宅建設事業(740,000)
　○（4）民間活用制度導入調査事業(8,500)
　○（5）大道森公園整備事業(94,000)
　○（6）公園リノベーション基本計画策定(5,000)
　（都市の安全）
　○（1）災害備蓄品整備事業（8,000）
　○（2）消防緊急通信指令施設整備(36,312)
4．美ら島の環境共生都市
　○（1）ＩＳＯ14001取得事業(3,939)
　○（2）家庭ごみ有料化事業（258,388）
　（3）ごみ焼却施設建設負担金(244,415)
　○（4）ゼロエミッション意識啓発事業(9,993)
　○（5）チョウの舞う街づくり推進事業(7,000)
　○（6）全国ハーブサミット推進事業(6,209)
5．学び創造する文化都市
　○（1）復帰３０周年記念公演ウィーン少年合唱団共催負担金（3,000）
　○（2）尚家継承文化遺産展(9,415)
　○（3）世界遺産周辺整備事業(78,738)
　（4）新都心小学校校舎建設事業(100,570)
　○（5）木の研修交流施設整備事業(22,242)
　○（6）特色ある学校づくり支援事業(9,000)
　（7）外国人英語教師導入事業（51,607）
　（8）教育相談支援事業（18,091）
　○（9）小禄小学校大規模改造事業(65,719)
6．アジア・太平洋の自由交易都市
　（商工業の振興）
　○（1）インキュベート施設整備事業(300,000)
　（2）ＮＡＨＡぶんかテンブス整備事業(19,706)
　○（3）国際通りトランジットマイル実証実験(3,000)
　○（4）国際通りグレードアップ事業(12,138)
　（5）漁船科学装備補助（3,000）
　（6）緊急雇用創出特別事業（332,815）
　（港湾・空港の整備）
　○（1）那覇港管理組合負担金(494,075)
7．世界の人々がゆきかう交流都市
　（1）観光宣伝誘致強化事業（20,701）
　（2）コンベンション誘致促進補助事業(5,000)
　（3）観光協会事業補助（ビーチオリンピック）（33,581）
8．第３次総合計画の実現の方法
　（1）ＩＳＯ9001認証取得事業（4,987）
　○（2）市町村合併に関する研究会(580)

21世紀は環境の世紀

環境にやさしい、資源循環

特色あふれる那覇

新たな第一歩を踏み出す年度にあたり、私は、新たに制定される「沖縄振興計画（仮称）」をふまえ、また、「沖縄振興特別措置法」を最大限に活用し、沖縄振興の基本的考え方である、「自立に向けた持続的発展」のため、各種施策を強力に推進いたします。

新しい産業を興し、若者をはじめとする市民の雇用の場を創っていくため、ＩＴ関連企業を支援するインキュベート施設（起業育成施設）の整備を図ります。

総合リース業、広告・デザイン業、経営コンサルタント業などの産業高度化業種が、進出しやすい環境を整えるため、市内全域を「産業高度化地域」として、指定できるよう取り組んでまいります。

また、観光産業が進出しやすい環境を整えるため、新都心地区を「観光振興地域」に指定するよう、国、県に働きかけていきます。同時に既存企業の足腰を強化することも重要であり、効果的な各種施策を実施いたします。

厳しい雇用情勢については、危機感を持って取り組んでまいります。そのため、国や県と連携し、「緊急雇用対策事業」の実施や、若年求職者のための資格取得・能力アップのための施策を推進いたします。さらに、本市においても、ワークシェアリングの実施について検討いたします。

「21世紀は環境の世紀」ともいわれ、私はこの一年間、ゼロエミッションの達成をめざし、ごみ減量化などの環境問題に取り組んでまいりました。

これまでの、私たちのライフスタイルを見直し、廃棄物の発生を抑制し、再利用、再生利用を進め、最後に適正に処分する、という物質循環が実現してはじめて、天然資源の消費が抑制され、環境への負荷が低減された「資源循環型社会」を構築することが可能となります。

この「資源循環型社会」の実現は、大変な作業ではありますが、21世紀の礎を築く第一歩であり、那覇市役所の改革であり、那覇市民の改革であります。私は、その実現に向け、先頭に立って頑張っていきたいと、決意しているところであります。

「市民福祉向上の観点から、民間のノウハウを積極的に活用し、民間でできることは民間に委ねる」という考えのもとに、行政と民間が一体となった、新しい時代の行政運営を推進してまいります。そのため、保育所やごみ収集などの民間委託を進めます。また、消防本部庁舎や新都心庁舎の整備については、民間活力の導入を図ってまいります。

野鳥が安全に住める漫

かつて琉球を訪れた人々が、その美しさに驚嘆したという、歴史と文化の薫りあふれる「那覇」。那覇には、首里城をはじめ、長い歴史に根ざした文化があります。その歴史と文化は、那覇市民の活力や個性の源泉であり、次の世代へ引き継いでいくべき、重要な財産でもあります。このようなことから、私は、文化をはぐくむ環境の整備や保存を図るとともに、市民の創造性と自主性を尊重した、文化活動を積極的に支援してまいります。

活力ある都市は、地域の主人公である住民と行政が、一緒に力を合わせた結果として生まれるものであります。本市においても、「活力ある都市・那覇」の形成をめざし、地域住民と行政とが一体となった、事業の展開を図ってまいります。

そのため、学校の余裕教室を利用した地域交流の推進、公園の美化清掃や環境整備など、地域の創意工夫に基づき、各種事業を展開する団体を支援し、地域コミュニティーの育成強化に取り組みます。

今年は復帰30周年の記念すべき年であります。復帰後、社会資本は着実に整備が進み、県民生活も向上いたしましたが、「自治」、「人権」、「平和」、「経済自立」という復帰の精神を忘れることなく、本市の抱える諸課題の解決に向け、一歩一歩着実に各種施策を推進してまいります。

平成14年度（2002年度）予算案

平成14年度予算案は、一般会計が総額１，００２億４００万円で、対前年度比２・７％の増となっております。企業会計を除く特別会計は、那覇港管理組合の設立に伴い、港湾事業特別会計が廃止されたために、総額７５７億３，７９６万５千円で、対前年度比５・９％の減となっております。

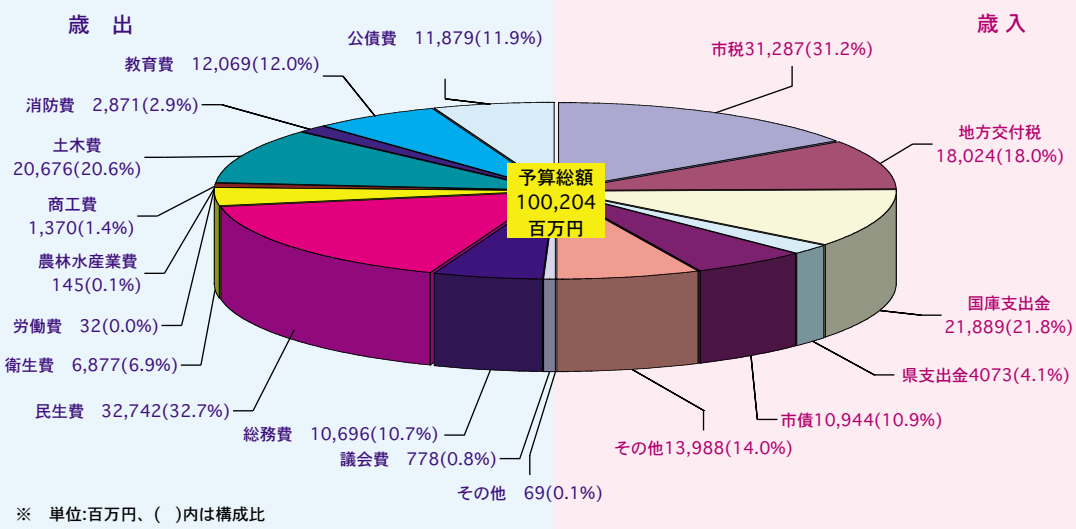
本市の財政は、市税収入や地方交付税とも、大きな減収の見込みであり、かつてない厳しい状況にありますが、私は、これまで以上に行財政改革を強力に推進し、市民の旺盛な行政需要に応えていきたいと思います。

予算編成にあたっては、新たな政策課題や緊急かつ重要な施策に的確に対応するため、各種施策の優先順位について厳しい選択を行い、計画的・重点的な配分に努めました。

「第３次総合計画」に掲げられた、七つの都市像を実現するため、平成14年度（２００２年度）に実施する、主な事業について、ご説明申し上げます。

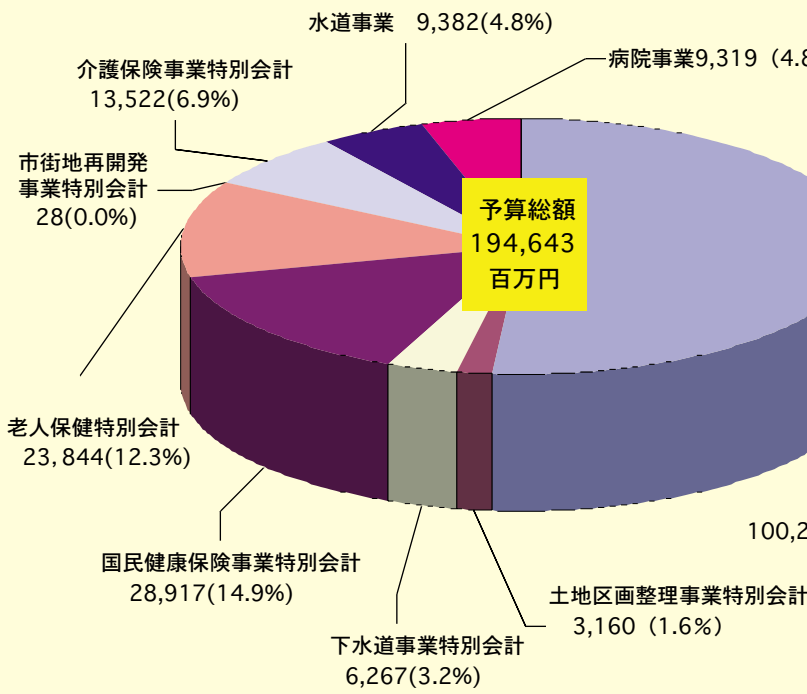
（後半は四月号で掲載）

平成14年度（2002年度）那覇市一般会計予算案（款別）



※　単位:百万円、(　)内は構成比
※　十万円以下は四捨五入

平成14年度（2002年度）那覇市予算案（会



※　単位:百万円、(
※　十万円以下は四捨